

令和 6 年度 地球科学科外部アドバイザー委員会 議事録

日時：令和 7 年 1 月 11 日（土）14:00～16:00

場所：地球科学科会議室（オンライン併用）

出席者（敬称略）

- ・現 地：17名
- ・オンライン：1名
- ・欠 席：1名

1. 主任挨拶

学科主任より、本委員会は教育の質保証および継続的改善を目的として開催しているものであり、外部アドバイザー委員から率直な意見をいただきたい旨の挨拶があった。

2. 地球科学科の状況報告

資料に基づき、地球科学科の現状について報告が行われた。教職員数および学生数、JABEE コース修了生数、カリキュラムの概要について説明があり、JABEE コースについては主として GPA を基準として履修者を選抜していることが紹介された。

続いて令和 6 年度入試の状況について報告があり、大学全体として志願者数が前年度比で減少した一方、歩留まり率は上昇したことが説明され

た。また、出前授業やオープンキャンパスなどのアウトリーチ活動の実施状況について紹介があった。

野外実習については、1年次から4年次まで各学年で実施しており、授業科目や卒業研究に応じて内容を変えながら運営していることが説明された。学生の研究活動については、学会発表等において奨励賞を受賞した学生が紹介されたほか、気象予報士試験対策講座や現役気象予報士による講演会を開催したことが報告された。

質疑応答では、野外実習の対象学年や実施内容、出前授業の依頼元、城ヶ島巡検を複数回実施する理由などについて質問があり、授業ごとに目的や内容が異なること、学校からの依頼を中心に実施していることなどが説明された。また、JABEEコース履修者と修了者数の関係、留学生の受け入れ状況についても意見交換が行われた。

3. 就職状況

資料に基づき、2023年度卒業生および2024年度卒業予定者の就職状況について報告が行われた。JABEEコース履修者は専門分野への就職率が比較的高い傾向にあるものの、近年はJABEE履修者の中にも専門分野以外へ就職する学生が増加していることが紹介された。

委員からは卒業後のキャリア形成に関する追跡調査の有無について質問があり、研究室単位では卒業生との連絡が継続している場合もあるが、学科全体として体系的な追跡は実施できていないとの説明があった。

4. 各部会からの報告

学習・教育到達目標部会からは、OBOG会社説明会の実施状況について報告があった。開催日程の見直しを行ったものの、夏季休暇終盤での開催となったため参加学生数が伸び悩んだことが説明され、アンケート結果を踏まえて今後の日程設定や内容の改善を検討することが報告された。また、卒業研究等のフィールド活動に対する支援を目的とした協力金制度について検討していることが紹介された。

さらに、JABEE 修了生の技術士資格取得状況や、地球・資源分野 JABEE 認定プログラム情報交換会議の内容について報告があった。認定審査料の値上げなど、JABEE 継続に関する課題についても説明があり、継続の是非について今後議論していく予定であることが示された。教育課程の設計に関しては、「卒業テーマ研究Ⅱ」を選択必修化することとなった経緯と目的について説明があった。また、教育実施面ではフィールド調査法の開講、学研災への全員加入、国立科学博物館パートナーシップへの加入および関連コンソーシアムへの参加について報告された。

学生受入れ部会からは入試結果について説明があり、志願者数は減少したものの歩留まり率が予想を上回り、定員を超える入学者となったことが報告された。また、2025年度入試の現状および2026年度入試における制度変更について説明があった。

教育環境・学生支援部会からは、大型機器設備の継続的な更新と維持管理、新規研究機器の導入および学科図書の整備状況について報告があった。

学科FD委員会からは、教室設備に関する改善要望を学部FD委員会を通じて提出したこと、および外部授業評価の実施について検討を行ったことが報告された。

学習・教育到達目標達成部会からは、ジオフェスや表彰式の実施状況が紹介され、教育目標達成度の評価結果を学生へのフィードバックに活用していく方針が示された。

教育改善部会からは、継続的改善活動の一環としてポスター展の開催やOBOG会社説明会の実施について報告があった。

5. 意見交換

委員との意見交換では、地球科学科における専門教育やフィールド教育の充実について高い評価が示された。一方で、学生同士や学年間の交流

機会を増やし、学習意欲の向上につながる仕組みづくりの重要性が指摘された。

また、近年の学生についてはインターネットや生成 AI を活用する傾向が強くなっている一方で、自ら考える力や体系的な理解を育成する必要があるとの意見が出された。教員からも、情報収集に頼るだけではなく、主体的な学習を促す指導の重要性について意見が述べられた。

専門就職については、JABEE 修了者の専門分野への就職をさらに促進することへの期待が示された一方で、本学科の専門就職率は全国的に見ても高い水準にあり、卒業生の就職状況や技術士資格取得状況を継続的に把握している点は高く評価できるとの意見があった。

さらに、地球科学科の魅力や研究活動について、出前授業や広報活動を通じて積極的に発信していく必要があること、限られた人的・時間的資源の中で優先順位を整理しながら教育活動を展開していくことが重要であるとの助言があった。

6. まとめ

最後に学科主任より、長時間にわたり貴重な意見をいただいたことへの謝辞が述べられた。また、外部アドバイザー委員による評価書については、当日の提出または後日の提出をお願いしたい旨の説明があった。

以上

文責：地球科学科事務局